

# みんなの環境

第 52 号 2023 年 4 月 10 日

編集/発行 あつぎ環境市民の会  
<http://atsugikankyo.g3.xrea.com/>

## 2023 年総会

市民のための環境学習をすすめます

代表 井上 允

山々の緑も日に日に濃くなりゴールデンウィークのような感じがする季節になりましたが、鳥たちの鳴き声は少なく、なんとなく“沈黙の春”が現実になってきたような今日この頃です。

会員の皆様にはコロナ禍も乗り切りお健やかに過ごしのことと存じ上げます。

2022 年も十分な活動ができない 1 年でしたが、昨秋からスタートした市民のための環境学習講座は活性化への起爆剤として取り組んだ事業でした。日々の暮らしを通して身の回りの環境を考えていただく機会になればと思って企画しましたが、この分野は時間をかけても繰り返し継続していく必要性を感じた 5 か月でした。

さて、新年度がスタートしましたので、昨年度を振り返り新たな目標に向かって歩み出すために、2023 年の総会を次の通り開催します。多くの会員のご参加いただき、活発な意見交換ができればと願っております。

11 名で発足したあつぎ環境市民の会も 70 名を擁する団体になりました。来年は発足 20 年を迎えますので、2023 年度の活動の柱として次のような展開を考えております。

1. レイチェルカーソンの「沈黙の春」を始めとする環境問題の基本を学ぶ学習講座。
2. 来年の「ソーラークッカー全国大会」に向けて市民へのさらなる普及啓発。
3. 迫りくる食糧危機に備えて食料の地産地消、食育の推進。

発足以来の基本目標「美しいふるさとをこどもたちへ」を合言葉に、鳥がさえずり蝶が舞う美しい自然環境と心豊かな暮らしをしっかりと次世代へバトンタッチしていけるよう力を振り絞って取り組んでまいりたいと考えております。

～～～

### あつぎ環境市民の会 2023 年度総会

日 時 2023 年 4 月 20 日 (木) 18:00～20:00

会 場 厚木市文化会館 302 会議室

- 内 容
1. 2022 年度事業報告並びに収支決算報告
  2. 2023 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)
  3. みんなで考えよう「浸透性農薬といのち」(情報提供)

## 【ほっこりや】 誕生秘話

地球環境 地域社会 そして人にもやさしい

### ごみも出さずエコなお店

\*津森 英里花



お金やモノを沢山持つこと＝豊かさではないと気付かされたのは、カンボジアの貧困地域の村で出逢ったある女性との会話がきっかけでした。もし今何でも叶うとしたら、何かしたいことや欲しいものはありますか？という私の問いに対して、「日の出とともに起きて、農業をし、日の入りとともに寝る。これが私にとって一番の幸せで、他には何も要らない。」という答え。この言葉を聞いてからというもの、足るを知り、心身ともに満たされていることこそ、豊かと言えるのではないかと考えるようになりました。

大学卒業後に渡った米国オレゴン州ポートランドでの暮らしは、まさにそんなことが体験できた場所でした。スーパーでのお買い物には再生紙の紙袋かマイバッグ持参が当たり前、通勤には車と同じくらい多くの自転車が交通手段として使われ、毎週大学のキャンパスで開かれるファーマーズマーケットには裸売りの野菜やパン、切り花がずらりと並び、川沿いには地元のアーティストによる自然素材の雑貨やアップサイクルで作られたアートなど、様々なものが売られていました。中古市場も盛んで、本も洋服も家具も、中古ショップを利用したり譲り合ったりする文化が作られていました。皆そんな地元を愛し、ポートランド市民であることに誇りを持っているようでした。何も、形の整ったきれいな食材や真新しいものを手に入れる必要は無く、むしろ、地元で採れた食材やオーガニックを選ぶこと、モノを受け継いで行くことにこそ、価値が置かれていました。

そんな経験を経て帰国した後、ある本の中で「エシカル」という言葉に出逢います。エシカルとは、人や地球環境、地域社会に配慮した考え方や行動のことを指し、今まで自分が大切に思ってきた価値観を表す言葉だと知りました。それと同時に、エシカルの反対にある「大量生産・大量消費・大量廃棄」「今だけ・金だけ・私だけ」という考え方や暮らし方が世界中に浸透していて、その根っこの部分では、女性や子どもの低賃金・長時間労働、人種差別、健康被害、生物多様性の損失、食糧不足、環境汚染、気候変動など、全てが繋がっていることを知りました。私たちの幸せは何かの犠牲の上に成り立っていることが多く、それは私たち人ひとりの衣食住の選択＝生き方の問題だということにも気付きました。

今を生きる以上、誰もが無関係でいることはできませんが、このような問題がほとんどメディアで取り上げられない日本では、まず知ることが大きな一歩になると考えました。自分が学んだことをSNSでアウトプットしつつ、石油由来であるプラスチックに頼らない生活にチャレンジし始めました。すると多くはプラスチックフリーにできたものの、最後まで減らせなかったのが食品包装のプラスチックゴミでした。また、人や環境に優しい日用品を買うためにはオンラインストアを渡り歩かなければならず、フルタイムで働きながら育児をする私にとっては大変時間のかかる作業でした。



有機食材の量り売りでゴミ減量も目指す

そこで、エシカルなライフスタイルをもっと身近に取り入れてもらいやすいようにと 2022 年 10 月に立ち上げたのが、有機食材の量り売り店【ほっこりや】です。ほっこりやでは、なるべく農薬や化学肥料に頼らずにつくられた食材を、持参した袋や容器に入れて買うことができます。扱っているのは、パスタ、スパイス、ナッツ、ドライフルーツ、豆類、酢・お醤油・砂糖・塩などの調味料、和食材など約 100 種類。20g から必要な分だけ買うことができるので食品ロスを出しにくく、個包装されていないので、持ち帰ったごみを分別して捨てる手間も省けます。他にも、人体に優しく自然に還る原料でできている食器用洗剤や洗濯洗剤、スポンジやブラシなどのキッチン雑貨や竹歯ブラシや固形シャンプーといった衛生用品など、生活に必要な雑貨も取り揃えています。

私たちは一人ひとり、お買い物という投票権を持っていて、商品やサービスの購入を通してどんな社会を望むのかという意思表示をすることができます。できる人ができるところから、楽しく取り入れることが長続きの秘訣です。一人の 100 歩より 100 人の一歩から。ほっこりやと一緒に、始めてみませんか。

\* (つもり えりか) ほっこりや代表 厚木市鳶尾在住

## 市民のための環境学習講座 2022 開講報告

\*井上 允

コロナ禍で活動が制約を受けるなか気分を一新して環境問題を学んでもらおうと、『みんなで考えよう「くらしといのち」』をテーマに 11 月から 3 月までに 5 回の講座を厚木市の市民協働推進事業補助金を受けて、ぼうさいの丘公園と厚木市文化会館で開催しました。

第 1 回と第 2 回では市民から排出されるごみの現状を、厚木市環境事業課職員の片桐亮さんから学びました。排出されるごみの半分近くが生ごみで、生ごみの半分が“食品ロス”とのことで、一人ひとりが努力すれば減量できることではないかと思いました。意識改革が必要です！

第 3 回は「ソーラークッカーのあるくらし入門」。日々ソーラークッカーを暮らしの中で活用している宇宙キッチンの皆さんから太陽エネルギーを利用した暮らし方を実演してもらいました。多少時間はかかりますが、エネルギー代はタダで、ごはん、ゆで卵、ケーキ、煮物、肉料理など様々なソーラークッキングが楽しめます。



ソーラークッカーの屋外実演

年が明けて第 4 回は「くらしの中の有害化学物質」と題して、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議代表理事の中下裕子さんから、農薬や環境ホルモンなど有害な環境化学物質汚染が地球環境の悪化を招き、子どもたちの健康にも影響を及ぼしている現状を最新の研究データなどを示しながらお話いただきました。公立小中学生の通常学級の 8.8%に発達障害があるということや、出席者からの“相模川から魚が消えた、農薬が原因ではないか”との質問にも驚きました。

第 5 回は 3 月 25 日に食政策センター・ビジョン 21 の安田節子さんをお招きして「食べものが劣化する日本」と題し、輸入農産物の農薬汚染、輸出国や EU より甘い残留農薬基準値の日本、遺伝子組み換え食品やゲノム編集食品の問題点など食の安全性についての詳しいお話をいただきました。参加者も 4 回までとは違う顔ぶれも多く、関心の高さを伺い知ることができたことや周知するうえできめ細かな働きかけの重要性を痛感した次第です。

2023 年度も市民向け環境学習講座を継続していきたいと考えておりますので会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

\* (いのうえ まこと) 厚木市上荻野在住



大きな木には、鍛冶屋さんが  
ありました。  
炉にコークスをくべて、ファイゴ  
で空気を送り込みますと、  
火が青白くなり、差しこん  
だ鉄がみる／＼赤くなりました。  
息の合った二人の相槌は、ト  
ンテンカンと、気持よくリズム  
をききました。  
農具を包下まで、オーグー  
メイドがくくりました。

画：櫻井進六（さくらい しんろく）

あつぎ環境市民の会

厚木市七沢在住

### 入会のご案内

あつぎ環境市民の会では会の主旨に賛同する仲間を募集しています。

入会ご希望の方は下記の事務局宛に入会申込書を郵送またはメールにてお送りください。

問い合わせ先：〒243-0122 厚木市森の里 3-4-3 鷺谷（さぎたに）方 あつぎ環境市民の会

電子メール：pxa05613@nifty.com ケイタイ：090-7243-9254

会費：年会費 1,000 円 郵便振替口座：00200-7-132779 加入者名：あつぎ環境市民の会

入会申込書		西暦	年	月	日
氏名(ふりがな)					
郵便番号・住所					
電話番号					
メールアドレス(注)					
(注) 電子メールを使った情報連絡をしています。					

### みんなの環境 第52号 2023年4月10日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 井上 允 / 制作 長岡 恂

<http://atsugikankyo.g3.xrea.com/>

事務局 〒243-0122 厚木市森の里 3-4-3 鷺谷雅敏方

e-mail : pxa05613@nifty.com ケイタイ : 090-7243-9254

郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 1000 円)

(C) あつぎ環境市民の会 2023